

露地野菜(たまねぎ)作期拡大のための優良品種選定 及び貯蔵性の検証

要約

「アドバンス」及び「甘70」は収穫期が早く収量性はあるが、腐敗球の発生により常温貯蔵には不適である。「ターザン」及び「もみじ3号」は、12月まで常温貯蔵出来る可能性があるが、黒カビの発生を抑える貯蔵方法の検討が必要である。

冷蔵貯蔵では、いずれの品種も12月までの貯蔵が可能であったが、冷蔵に必要な経費と収益の計算が必要である。

○ 展示のねらい

たまねぎの品種ごとの収量と貯蔵性を把握することにより、品種の組み合わせによる作期拡大の可能性を検討する。

○ 主な成果

球重及び横径は「甘70」「もみじ3号」「アドバンス」「ターザン」の順に大きかった。

「アドバンス」及び「甘70」は常温貯蔵では腐敗球の発生が多く11月以降は萌芽球が発生した。「ターザン」及び「もみじ3号」は常温保存でも腐敗球や萌芽球の発生は少なかった。いずれの品種も常温貯蔵では9月以降黒カビの発生が見られた。

いずれの品種でも、冷蔵貯蔵では腐敗球の発生は少なく萌芽球及び黒カビは発生しなかった。

表1 収量調査

	調査日	球重 (g)	横径 (mm)	縦径 (mm)	規格割合 (%) 注1)				換算収量 注2) (kg/10a)
					2 L	L	M	S	
アドバンス	5/18	246.9	7.9	7.5	10	35	45	10	5,529
甘70	6/2	348.7	9.1	7.7	55	40	5	0	7,811
ターザン	6/2	221.9	7.7	6.9	0	35	55	10	4,969
もみじ3号	6/17	288.5	8.4	8.0	10.5	63.2	26.3	0	6,461

注1)規格は横径の直径別に分類した。2 L : 9cm以上、L : 8~8.9cm、M : 7~7.9cm、S : 5~5.9cm

注2)換算収量=球重×28,000株×0.8で計算した。

表2 貯蔵調査

	処理	調査項目	調査時期						(合計)
			7月1日(15日) 注1)	8月10日	9月8日	10月11日	11月8日	12月8日	
アドバンス	常温	貯蔵後球数割合 注2)	100	93	88	86	77	30	
		腐敗球・萌芽球		7	5	2	10	48	(72)
	冷蔵	貯蔵後球数割合	100	100	98	96	96	94	
		腐敗球			2	2		2	(6)
甘70	常温	貯蔵後球数割合	100	78	66	58	51	17	
		腐敗球・萌芽球		20	11	8	6	31	(76)
	冷蔵	貯蔵後球数割合	100	100	99	99	98	98	
		腐敗球			1		1		(2)
ターザン	常温	貯蔵後球数割合	100	100	100	98	98	95	
		腐敗球・萌芽球				2		3	(5)
	冷蔵	貯蔵後球数割合	100	100	100	100	99	99	
		腐敗球					1		(1)
もみじ3号	常温	貯蔵後球数割合	100	100	100	100	99	98	
		腐敗球・萌芽球					1	2	(3)
	冷蔵	貯蔵後球数割合	100	100	100	100	100	100	
		腐敗球・萌芽球							(0)

注1)ターザン、もみじ3号は7月15日から貯蔵した。

注2)外観上正常な球

○ 今後の方向性

品種を選ぶことで中早生品種でも12月まで常温貯蔵出来る可能性があるが、黒カビの発生が見られたため貯蔵方法の検討が必要である。冷蔵貯蔵では、いずれの品種も12月までの貯蔵が可能であるが、冷蔵に必要な経費と収益の計算が必要である。

実施機関： 塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 実施場所： 高根沢町

問合せ先： 栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315